

『甲状腺半切術における頸部ドレーン排液量と抜去時期の検討』 について

第2版 2025年3月9日

1. 研究（調査）の目的と概略

甲状腺半切術における頸部ドレーン排液量と抜去時期の関連について調べています。本研究では、上記を明らかにすることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

2. 研究（調査）の方法

2023年4月1日から2024年3月31日までの期間に京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科で甲状腺半切除術を受けられた患者さんに関して、入院日年齢、性別、入院日、退院日、組織型（良性悪性）、悪性の場合TNM病期、手術開始時間、手術終了時間、身長、体重、内服歴、既往歴、ドレーン排液量と抜去日数、術後感染の有無、再ドレーン留置に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。

3. 研究（調査）の参加施設および責任者

＜研究代表機関＞

公益財団法人大原記念倉敷中央病院医療機構倉敷中央病院 耳鼻咽喉科 玉木久信

＜共同研究機関＞

京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 岸本曜

兵庫県立尼崎総合医療センター 耳鼻咽喉科 市丸和之

愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 三谷壮平

4. 研究期間

研究実施機関の長の許可日から2026年3月31日

5. 利用または提供を開始する予定日

各研究機関の長の実施許可日以降に利用を開始します。

6. 調査の対象となる患者さん

本研究の対象となるのは、2023年4月1日～2024年3月31日の間に、甲状腺半切除術を受けられた患者さんです。

7. この調査への協力は任意です。

本研究は、患者さんの診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者さんに新たな診療や検査を強いるものではありません。研究に用いる情報は、個人が特定できないようID化して管理し、個人情報保護します。

データのご使用をお断りになる場合には直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。

8. 研究資金・利益相反について

研究資金：運営費交付金

利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

9. 倫理審査と許可

この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の審査を受け、京都大学医学部附属病院長の実施許可を得て行われています。

10. お問い合わせ先

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

研究責任者：岸本 曜

電話：075-751-3346

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話：075-751-4748

E-mail:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp